

③ 有田コープファーム

所在地 和歌山県

視察日 2017年10月27日(金)

主な取扱品目 温州みかん・雑柑類



和歌山県有田市は県中部に位置し、南に面した急峻な山の斜面を石垣を作り開拓された圃場が多く、その栽培、手入れ、収穫はとて大変な作業となっている。しかし、その日当たりや温暖な気候(平均温度17℃、日照時間約2,800時間、雨量約1,600mm)、冬は黒潮海流にも助けられ積雪も少なく、果樹栽培には適した土地となっている。



商品の特 徴

《有田みかん》

有田地方は早生種(主に宮川早生という品種)の産地。外皮は薄く剥き易く、内袋も薄く柔らかいので食べやすいのが特徴である。



《品質への取組》

美味しいみかん作りは、生産者にとっては究極の課題だ。有田コープファームは、毎年それをテーマに学習会を行っている。栽培の技術向上は春に剪定講習、7月に摘果講習会(2017年は9月にも開催)を行っている。また防除計画はJAありだの応援を受け3月に1年間の計画を立てている。

生産者のコメント

有田コープファームのみかんは、減農薬を徹底しています。無農薬栽培はみかんの木がとて弱く枯れやすいため実際には難しく、その中で必要最低限に抑えた減農薬を行っています。

通常30回使用される回数も14回までに抑え、それも8月までに全て終え、9月から収穫までの約2ヶ月は全く使用しません(市場に出回る多くのみかんは、収穫直前に防腐剤を使用)。そのため、有田コープファームのみかんは、市場の物よりどうしても腐りは多くなってしまいます。その理由を知って、利用をしていただき、手元に届いたらなるべく早目に食していただくことをお願いしています。



参加理事のコメント

どの農産地でもきっと同じだと思いますが、生産していく上での問題は、害獣と気候変動と生産者の高齢化です。害獣に対してはネットや柵など考えられる全ての対策を取っておられます。高齢化に対しては、現在生産者の平均年齢が68歳。有田コープファームの役割として、みかんの生産を守る事はもちろんの事、山を守る、緑を守る事も大事だと考えておられます。安心安全なみかんを今後安定して口にするために、極早生のみかんから5・6月頃まで出回る晩生の八朔、伊予柑、清見オレンジなど一年のうち長期間に渡っての品目の取り扱いを、今後も続けていく事が必要だと感じました。

